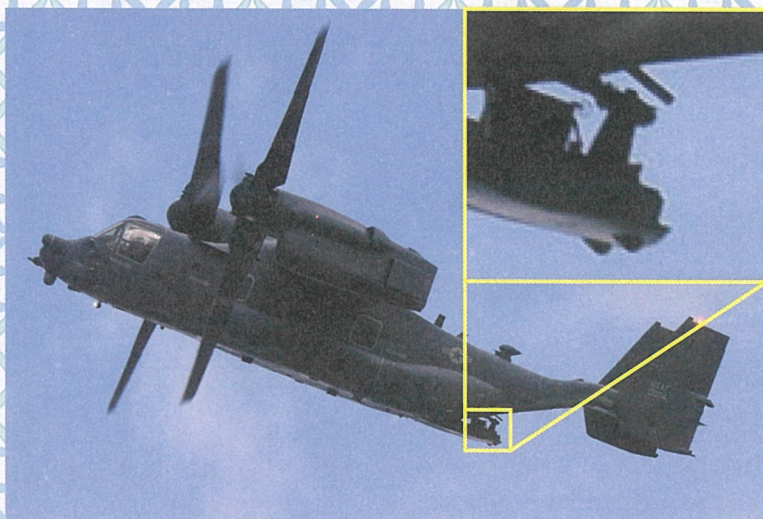




沖縄県名護市の海岸に墜落したオスプレイ (2016年12月13日)

オスプレイ配備に反対する沖縄県民大会 (2012年9月9日・宜野湾市)

日本のどこにも オスプレイはいらない



住宅地に銃口を向けて飛行する 東京・横田の米軍オスプレイ



佐賀市で開かれた「オスプレイいらない」集会 (2018年6月10日)

〈呼びかけ団体〉

- 安保破棄中央実行委員会
電話：03-3264-4764
- 安保廃棄・くらしと民主主義を守る沖縄県
統一行動連絡会議 電話：098-988-8172
- オスプレイ反対東京連絡会
電話：03-5927-1486 (安保破棄東京実行委員会)
- 安保廃棄千葉県実行委員会
電話：043-441-5093
- オスプレイ配備反対佐賀県連絡会
電話：0952-25-5022 (佐賀県労連)



オスプレイの木更津飛来に抗議する住民 (2020年7月6日、木更津市)

オスプレイの飛行中止と配備撤回を求める署名

衆議院議長 様

参議院議長 様

【請願趣旨】

2012年から沖縄の普天間基地に米海兵隊のMV22 オスプレイ 24機が配備され、県内で住宅地上空・低空での危険な飛行を繰り返すとともに、全国で日米共同訓練に参加しています。

2018年から東京の米軍横田基地に空軍の特殊作戦用のCV22 オスプレイの配備が始まり、2024年までに10機体制がねらわれています。ここでは、住民に銃口を向けて飛行し、住宅地付近でホバリングを行なうなど、住民を脅かしています。

2016年からは千葉県木更津市で日米共用のオスプレイ整備が始まり、2020年からは陸上自衛隊の購入したオスプレイの「暫定配備」が強行され、夜間飛行訓練などを行ない、最終的には17機が常駐しようとしています。

3000万人が暮らす首都圏に日米合わせて数十機のオスプレイが飛行する異常な事態となっています。

一方、日本版海兵隊のオスプレイ拠点を狙われる佐賀空港周辺住民は配備に反対してたたかい続けています。

2016年には、沖縄県名護市で米海兵隊オスプレイの墜落事故が起き、翌2017年には同じ普天間基地所属のオスプレイがオーストラリアで訓練中に墜落して3人が死亡し、衝撃が走りました。その後も各地で不時着などを繰り返しており、多くの国民がオスプレイに恐怖を抱いています。

オスプレイは1991年以降、11回もの重大事故を起こし、死者41名を出している構造的な欠陥機です。日本のどこにもオスプレイはいりません。

私たちは、日本政府に下記事項の実現を強く求めます。

【請願項目】

- 日本でのオスプレイの飛行中止とオスプレイ参加の日米共同訓練の中止
- 沖縄・普天間基地へのオスプレイ配備の撤回
- 千葉・木更津への陸上自衛隊オスプレイの配備撤回と日米共用のオスプレイ整備工場の撤去
- 東京・横田基地へのCV22 オスプレイの10機体制の中止と配備撤回
- 佐賀空港への陸上自衛隊オスプレイ配備計画の中止

氏名	住所

取り扱い団体 全日本民主医療機関連合会

【送付先】 全日本民医連 〒113-8465 東京都文京区湯島 2-4-4 平和と労働センター7F